

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
てんまおいけ 天満大池		兵庫県加古郡稲美町六分一 ろくぶいち	
貯 水 量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
476千m ³	193.5ha	4m	718m

ため池の紹介文

天満大池は、白鳳3（675）年頃築造され、兵庫県で最も古い築造の記録が残っているため池です。池の北側にある「天満神社」では、神輿を3～4回ため池で浮沈させて、池の満水と五穀豊穡を願う祭りがあり、歴史的な雰囲気がいっぱいのため池です。

住民の憩いの場として、池のほとりの「天満大池公園」には、バーベキューサイトや遊具もあり、人気のスポットになっています。

そのほか、天満大池には、兵庫県における絶滅危惧種の「アサザ」が自生しています。「アサザ」を守るため、ため池管理者、周辺自治会、自然環境団体等により「アサザを育む会」が平成15年度に結成され、外来生物の除去作業や「アサザ」の里親制度、生育ヤードの設置などの活動を行っています。

また、天満東小学校の児童が「アサザ」の苗の植付作業を行い、地元が池の歴史や保全の取組を伝えるなど後継者づくりにも取り組んでいます。

なお、天満大池はため池百選「いなみ野ため池ミュージアム」を形成するため池のひとつです。

ため池の写真



天満大池



秋祭り

推薦理由

天満大池は、兵庫県で最も古いため池として有名です。また、絶滅危惧種に指定されている「アサザ」が生息し、保護活動を行っています。秋には、地域住民による祭りが行われるなど、様々な特色を持っていることから天満大池を推薦します。